備蓄倉庫·備蓄物資·応急救護設備

備蓄倉庫の整備状況・備蓄物資の備蓄状況

- ・備蓄倉庫は、延べ床面積にして約65㎡(人口1万人あたり)を整備。
- ・備蓄物資は、乾パン約1,302食、インスタント麺約139個、米約734kg、 缶詰約927缶、水約2,617リットル、ろーそく約118本、懐中電灯約14 個、毛布約432枚、被服約127個、医療品約3.5セット、浄水器約0.7 個(いずれも人口1万人あたり)を確保している。

(備蓄倉庫)		集計値(47都道府県)
	整備済み備蓄倉庫の箇所数	13,534 箇所
	整備済みの備蓄倉庫の延床面積	769,638.5 m2
	人口1万人当たり備蓄倉庫延床面積	63.6 m2
(乾ぱん)		集計値(47都道府県)
	備蓄量総計	16,345,977 食
	人口1万人当たりの備蓄量	1,301.7 食 / 1万人
(インスタント麺)		集計値(47都道府県)
	備蓄量総計	1,744,421 個
	人口1万人当たりの備蓄量	138.9 個 / 1万人
(米)		集計値(47都道府県)
	備蓄量総計	9,211,469 kg
	人口1万人当たりの備蓄量	733.6 kg / 1万人
	<u>(アルファ米を含む)</u>	
(缶詰)		集計値(47都道府県)
	備蓄量総計	11,637,174 缶
	人口1万人当たりの備蓄量	926.7 缶 / 1万人
(水)		集計値(47都道府県)
	備蓄量総計	32,864,597 リットル
	人口1万人当たりの備蓄量	2,617.2 リットル / 1万人
	(貯水施設による貯水量は含まない)	
(ろーそく)		集計値(47都道府県)
	備蓄量総計	1,482,488 本
	人口1万人当たりの備蓄量	118.1 本 / 1万人
(懐中電灯)		集計値(47都道府県)
	備蓄量総計	177,930 個
	人口1万人当たりの備蓄量	14.2 個 / 1万人

(毛布)		集計値(47都道府県)		
	備蓄量総計	5,424,071 枚		
	人口1万人当たりの備蓄量	432.0 枚 / 1万人		
(被服)		集計値(47都道府県)		
	備蓄量総計	1,599,274 個		
	人口1万人当たりの備蓄量	127.4 個 / 1万人		
(医療品)		集計値(47都道府県)		
	備蓄量総計	43,771 セット		
	人口1万人当たりの備蓄量	3.5 セット/1万人		
(浄水器)		集計値(47都道府県)		
	備蓄量総計	8,246 個		
		0,240 但		
		0.7 個 / 1万人		

【定義】

備蓄倉庫 :都道府県市区町村、地方公共団体が新たに設置した備蓄倉庫及び

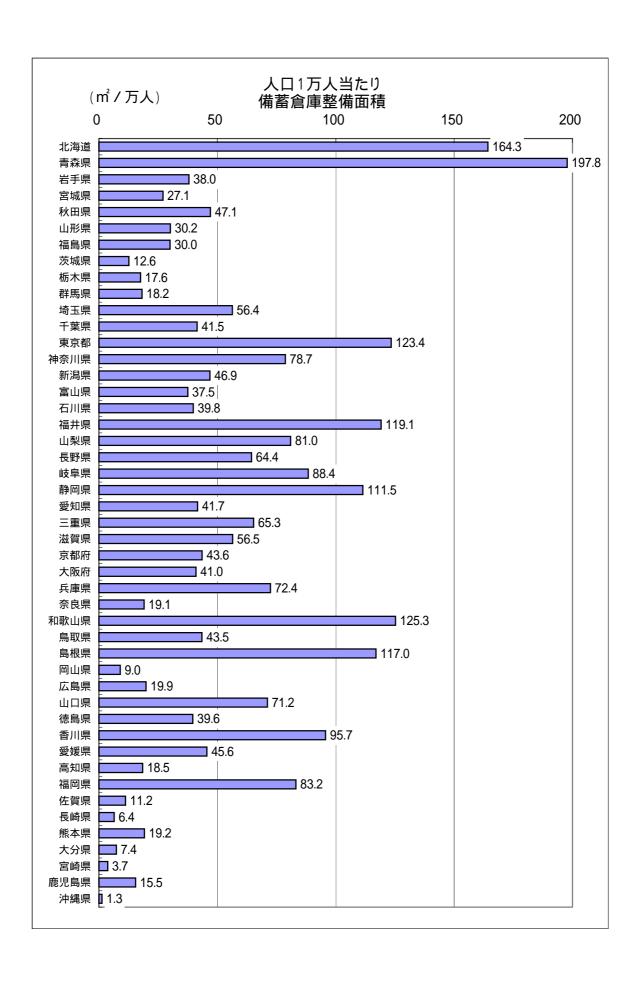
既存建物施設の一部を利用した備蓄倉庫、学校備蓄室等を含む

人口1人当たり備蓄倉庫整備面積:市町村人口に対する備蓄倉庫の整備割合

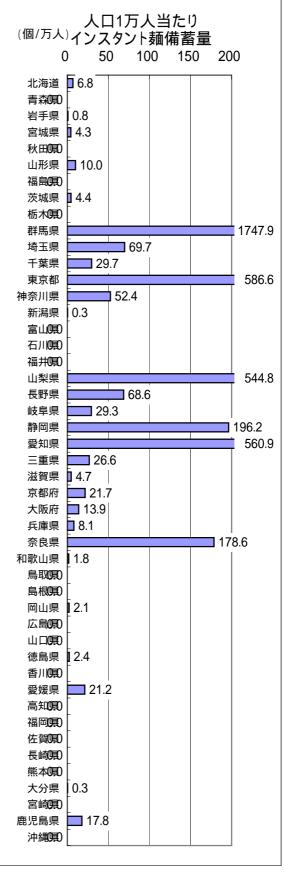
: 乾パン、インスタント麺、米、缶詰、水、ローソク、懐中電灯、 毛布、被服、医薬品、浄水器 平成13年4月1日現在の「消防防災震災対策現況調査」 備蓄品

(消防庁調べ)より転記

人口1万人当たり備蓄品数 : 市町村人口に対する備蓄品の整備割合





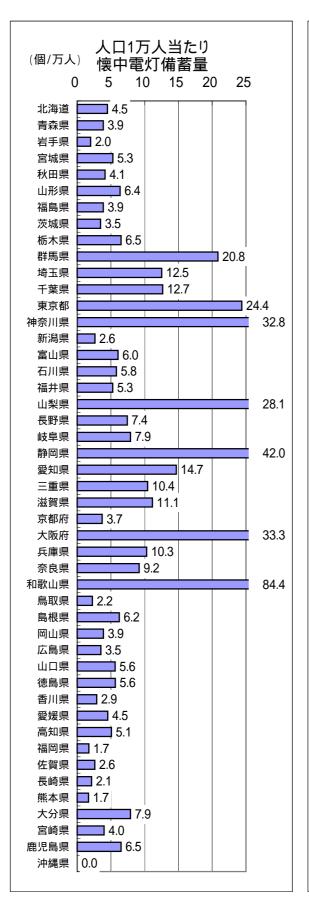






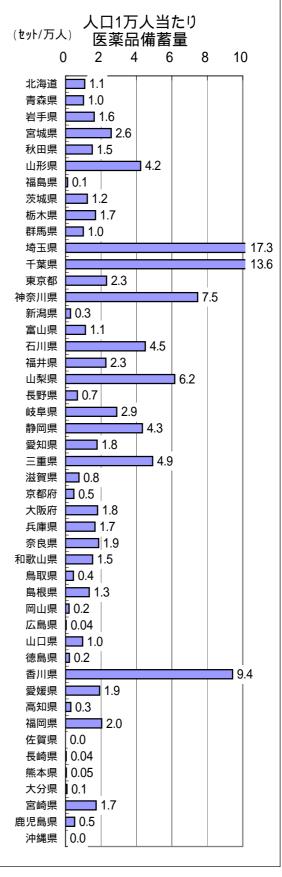














応急救護設備等の整備状況

・応急救護設備等については、応急仮設テント約2.7張、担架約2.9 台、災害用トイレ設備約23.5個(いずれも人口1万人あたり)を確保 している。

(応急仮設テント)

	集計値(47都道府県)
備蓄量総計	34,634 張
人口1万人当たりの備蓄量	2.7 張 / 1万人

(担架)

	集計値(47都道府県)
備蓄量総計	36,768 台
人口1万人当たりの備蓄量	2.9 台 / 1万人

(災害用トイレ設備)

	集計値(47都道府県)
備蓄量総計	297,118 個
人口1万人当たりの備蓄量	23.5 個 / 1万人

【定義】

応急救護設備 : 応急仮設テント、担架、投光器セット、緊急電源装置、災害

用トイレ設備

平成13年4月1日現在の「消防防災震災対策現況調査」

(消防庁調べ)より転記

人口1人当たり応急救護設備数:市町村人口に対する応急救護設備の整備割合

